



平成28年11月2日

各位

上場会社名 株式会社 九州リースサービス
 代表者 代表取締役社長 古賀 恭介
 (コード番号 8596)
 問合せ先責任者 常務取締役業務本部長 檜垣 亮介
 (TEL 092-431-2530)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月11日に公表しました平成29年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	1,750	1,700	1,200	53.40
今回修正予想(B)	10,616	1,874	1,831	1,555	69.21
増減額(B-A)	616	124	131	355	
増減率(%)	6.2	7.1	7.7	29.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	9,439	1,846	1,821	1,406	62.66

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	3,000	2,900	1,900	84.56
今回修正予想(B)	20,300	3,000	2,900	2,200	97.89
増減額(B-A)	300	0	0	300	
増減率(%)	1.5	0.0	0.0	15.8	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	19,395	2,905	2,824	1,725	76.82

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,700	1,600	1,150	51.18
今回修正予想(B)	10,431	1,796	1,525	67.88
増減額(B-A)	731	196	375	
増減率(%)	7.5	12.3	32.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	8,526	1,662	1,345	59.94

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭

前回発表予想(A)	19,500	2,800	1,850	82.33
今回修正予想(B)	19,900	2,800	2,150	95.67
増減額(B-A)	400	0	300	
増減率(%)	2.1	0.0	16.2	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	17,992	2,627	1,829	81.47

修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想の修正理由

当第2四半期連結累計期間の予想につきましては、リース事業を中心に各事業が堅調に推移したため、売上高は前回発表予想を6.2%上回る見込みとなり、利益面におきましても貸倒費用が見込みを下回ったこともあり、前回発表予想比で営業利益が7.1%増、経常利益が7.7%増の見込みとなりました。また上記に加え、税金費用が見込みを下回ったため、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前回発表予想比で29.6%増といずれも予想を上回る見込みとなりました。

(2) 通期連結予想の修正理由

第2四半期連結累計期間の業績見通しを踏まえ、10月以降の各事業における計画を見直した結果、通期業績予想を修正いたします。

売上高および経常利益につきましては、第2四半期累計期間では計画を上回る見込みとなったものの、下半期の経営環境は楽観視はできないものと認識しており、マイナス金利の影響などを勘案し、新規取扱契約高や原価率上昇などを算定した結果、売上高は前回発表予想比で1.5%増、営業利益および経常利益は据え置きの見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第2四半期累計期間の予想超過により、前回発表予想比で15.8%増加する見込みであります。

(3) 第2四半期累計期間及び通期の個別業績予想の修正理由

個別業績予想の修正につきましては、上記の連結業績予想と同様の理由により修正を行っております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以上